

日本福音主義神学会西部部会 2013年度春期研究会議

「私たちにとっての三位一体論」

2013年4月15日(月) 関西聖書神学校

<プログラム>

- 10:00 受付開始
* 10時より理事会を開催します。
- 10:30~11:00 開会礼拝
司会・奨励 鎌野直人(コーディネーター長)
- 11:00~12:30 研究発表(各自発表20分+質疑応答10分)
* 発表者募集中
- 12:30~13:30 昼食
* 関西聖書神学校の方々がカレーライスを用意していただきますので、当日お申込みください(一般:500円、神学生250円)。
* この間、理事会を開催します。
- 13:30~14:00 日本福音主義神学会西部部会総会
- 14:00~15:30 発題講演
司会 岸本大樹(コーディネーター)
- ① 「三位一体論をどう理解してきたか?~アウグスティヌスの三位一体論の今日的意義~」
金井由嗣氏(日本イエス・キリスト教団千里聖三一教会牧師, 関西聖書神学校講師)
- ② 「私たちの三位一体論~今日の三位一体論の問いかけに答えて~」
坂井純人氏(改革長老教会東須磨教会牧師, 神戸神学館教師, 神戸改革派神学校講師)
- 15:30~16:00 質疑応答
- 16:00~16:30 総括・献金・閉会の祈り
進行 正木牧人(コーディネーター)
- 16:30 散会

2013年1月16日

日本福音主義神学会西部部会・春期研究会議へのお招き

日本福音主義神学会西部部会は一年に二度、春と秋に研究会議をしております。その中で、毎回旬なテーマ、時には、教会や教団で取り上げて深める機会が少ないが重要な話題を取り上げますし、神学校で取り上げることがあっても、一校では手に余るような取り組み方で見識を深めようとしております。また部会は、学会として互いに貢献する場でもあります。

春期研究会議ではいよいよ三位一体論を取り上げます。初代教会の信仰告白に至る義論の道筋は周知の通りです。東西の教会分離のときにも、宗教改革のときにも、教会で繰り返し再認識をされながら、正統的なキリスト教会の教理として大切に告白されてきた教えです。しかし、私たちの通常の教会生活や神学的営みにおいては、異端の教えとの違いを述べる以外には、必ずしもその重要さに見合わない、形式的とも言ってしまうような取り扱いに終わっていないでしょうか。加えてここ数十年は三位一体論が神学の分野で新しい切り口で取り上げられ話題になっています。

日本福音主義神学会ならではの若手の神学者が私たちの理解を深め、広げるガイドとなり、今回の学びを進めてまいります。三位一体論の意義深さをあらためて実践的に味わい、神学の喜びと牧会・伝道・教会形成の喜びがシンクロナイズする経験をおとどけします。少しご自分で三位一体論を復習してからご参加くださると更に豊かな学びとなるでしょう。今回初めて参加する、という方も歓迎いたします。共に神学しましょう。

日 程 2013年4月15日(月) ; 別紙参照

テーマ 私たちにとっての三位一体論

発 題 金井由嗣氏 (日本イエス・キリスト教団千里聖三一教会牧師, 関西聖書神学校講師)
坂井純人氏 (改革長老教会東須磨教会牧師, 神戸神学館教師, 神戸改革派神学校講師)

会 場 関西聖書神学校 <http://kbc-bw.sakura.ne.jp/>
〒655-0872 神戸市垂水区塩屋町6-32-15
(JR・山陽電鉄「塩屋駅」から徒歩20分、
山陽電鉄「滝の茶屋駅」から徒歩10分)
TEL 078-751-2126
FAX 078-751-2311



<研究発表募集>

氏名、所属、発表される概要をコーディネーター長の鎌野直人にメール (nkamano@ftml.net) でお知らせください。締め切りは2月末日です。発表時間は20分で、その後で10分の質疑応答を持ちます。

<コーディネーター>

鎌野直人 (関西聖書神学校学監)
正木牧人 (神戸ルーテル神学校校長、伊丹ルーテル教会牧師)
岸本大樹 (キリストの教会・旭基督教会牧師, 大阪聖書学院学院長, キリスト者学生会非常勤主事)